

inflammatory pain-like behaviors with brain activation in mice. Eur J Oral Sci.131(4):e12942,2023

【研究費獲得】

- 1) 柿原嘉人(代表): 骨芽細胞のI型コラーゲンと基質小胞の分泌経路における Rab タンパク質の機能解明.日本学術振興会科学研究費補助金,基盤研究(C),23K09117,2023.
- 2) 岡本圭一郎, 柿原嘉人(分担)他: トレッドミル走がストレス誘発性の顔面痛を軽減する脳メカニズム.日本学術振興会科学研究費補助金,基盤研究(C),23K09391,2023.
- 3) 船山昭典, 柿原嘉人(分担)他: 口腔癌進展における癌関連線維芽細胞(CAFs)のTGF- β シグナルの解明.日本学術振興会科学研究費補助金,基盤研究(C),22K10143,2023.(継続)
- 4) 加来賢, 柿原嘉人(分担)他: 定量プロテオミクスによる歯根膜マトリックスの網羅的解析と再生基材の開発.日本学術振興会科学研究費補助金,基盤研究(B),21H03127,2023.(継続)

【学会発表】

- 1) Yoshito Kakihara, Keiichiro Okamoto, Kensuke Yamamura:The cellular basis analysis for the regulatory roles of Sake Lees on bone metabolism.第65回歯科基礎医学会,東京,2023年9月18日.
- 2) Lay Thant, Masaru Kaku, Azusa Dobashi, Yoshito Kakihara, Isao Saito, Katsumi Uoshima:Chemical digestion-assisted extracellular matrix profiling of cultured periodontal ligament cells.第55回日本結合組織学会,岡山市,2023年6月24日.
- 3) 三宅康隆, 松田夏, 平井奈実, 鷹羽優香, 井上真緒, 亀谷太一, 安田佳織, 柿原嘉人, 原崇, 品田哲郎, 上田大次郎, 佐藤努:非天然型トリテルペンの生合成およびアンブレインのビタミンD受容体結合能・構造活性相関.日本農芸化学会 2023 年度大会,オンライン開催,2023年3月14日.
- 4) Jorge Saez Chandia, Keiichiro Okamoto, Mayumi Taiyoji, Kotaro Aihara, Atsushi Kurahashi, Kazuya Kodaira, Kensuke Yamamura, Takafumi Hayashi, Yoshito Kakihara:Effect of Sake lees (Sake-kasu) on osteoblastic differentiation and bone metabolism.日本農芸化学会 2023 年度大会,オンライン開催,2023年3月17日.

【研究会発表】

- 1) 柿原嘉人:米発酵食品の健康機能性研究.にいがたフードテック研究会,新潟市,2024年3月7日.

- 2) 柿原嘉人:酒粕の健康機能の探索.第6回日本酒学シンポジウム,新潟市,2023年11月28日.

包括歯科補綴学分野

【論文】

- 1) Togawa H, Gonda T, Karino T, Maeda Y, Ono T, Ikebe K: Force exerted on maxillary anterior teeth in mandibular unilateral and bilateral distal extension partial edentulous situation. Odontology.111(2):451-460, 2023 Apr.
- 2) Sta Maria MT, Hasegawa Y, Marito P, Yoshimoto T, Salazar S, Hori K, Ono T: The impact of residual ridge morphology on the masticatory performance of complete denture wearers. Heliyon. 13;9(5):e16238, 2023 May.
- 3) Okawa J, Hori K, Izuno H, Fukuda M, Ujihashi T, Kodama S, Yoshimoto T, Sato R, Ono T: Developing tongue coating status assessment using image recognition with deep learning. J Prosthodont Res. 2023 Sep. Online ahead of print.
- 4) Yoshimoto T, Hasegawa Y, Sta Maria MT, Marito P, Salazar S, Hori K, Ono T: Effect of mandibular bilateral distal extension denture design on masticatory performance. J Prosthodont Res. 13;67(4):539-547, 2023 Oct.
- 5) Murakami K, Kasakawa N, Hori K, Kosaka T, Nakano K, Ishihara S, Nakauma M, Funami T, Ikebe K, Ono T: Relationship between maximal isometric tongue pressure and limit of fracture force of gels in tongue squeezing. J Oral Rehabil.51(3):574-580, 2024 Mar.
- 6) Sta Maria MT, Hasegawa Y, Khaing M M Aye, Salazar S, Ono T: The Relationships between Mastication and Cognitive Function: A Systematic Review and Meta-Analysis. Jpn Dent Sci Rev.59:375-388, 2023 Dec
- 7) Kakimoto N, Wongratwanich P, Shimamoto H, Kitisubkanchana J, Tsujimoto T, Shimabukuro K, Verdonshot G Rinus, Hasegawa Y, Murakami S: Comparison of T2 values of the displaced unilateral disc and retrodiscal tissue of temporomandibular joints and their implications. Sci Rep. 19;14(1):1705, 2024 Jan.
- 8) Ishimaru T, Yamaguchi T, Saito T, Hattori Y, Ono T, Arai Y, Hasegawa Y, Shiga H, Tamaki K, Tanaka J, Tsuga K, Abekura H, Miyawaki S, Maeda-lino A, Mikami S, Gotouda A, Satoh K, Shimizu K, Kato Y, Namita T: Actual State of the Diurnal Masseteric

Electromyogram: Differences between Awareness and Non-Awareness of Awake Bruxism. J Prosthodont Res. 2024 Jan.

- 9) Hasegawa Y, Minakuchi H, Nishimura M, Nishio K, Yoshioka Fi, Ishii T, Watanabe T, Nishiyama Y, Sato Y, Yoshida K, Sta Maria MT, Iinuma T, Matsuka Y : Effect of soft denture liner on complete denture treatments: A systematic review. J Prosthodont Res. 2024 Feb. Online ahead of print.
- 10) Fukuoka T, Hori K, Ono T. Quantitative evaluation of swallowing function in Parkinson's disease using tongue pressure measurement: a mini-review. Front Neurol. 13:15:1355627, 2024 Feb
- 11) Togawa H, Gonda T, Karino T, Maeda Y, Ono T, Ikebe K: Clinical Measurements of Force Exerted on Anterior Teeth in Partial Edentulous Distal Extension. Int J Prosthodont. 21;37(1):27-33, 2024 Feb.
- 12) 楠博, 糸田昌隆, 元根正晴, 長谷川陽子, 岸本裕充, 新村健, 志水秀郎: オーラルフレイルの新規スクリーニング法の確立 医科からのアプローチ. 日本歯科医学学会誌(0286-164X). 42: 76. 2023Mar.
- 13) 堀 一浩, 小野 高裕: 外来診療に役立つ 機器・材料・薬剤 口腔内圧の測定 舌圧測定器. JOHNS. 39(4): 441-444,2023Apr.
- 14) 坂ノ下 典正, 堀 一浩, 谷村 基樹, 菅野 範, 上原文子, 吉村 将悟, 堀 頌子, 松井 美咲, 遠藤 歩樹, 大澤 謙二, 清水 和正, 岡林 一登, 小野 高裕: 家族を単位とした咀嚼行動変容の試み. 福岡市における「bitescan とガムを活用した咀嚼力アッププロジェクト」. 日本咀嚼学会雑誌(0917-8090)33(1):11-22,2023.May
- 15) 重本 心平, 堀 一浩, 高橋 順子, 大川 純平, 小野高裕, 宮島 久: 嚥下障害が疑われた総合病院入院高齢者における舌口唇運動機能と栄養リスクおよび食形態との関連性. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会雑誌(1343-8441)27(2):117-127,2023Aug.
- 16) Nishinari K, Zhang K, Yang N, Gao Z, Gamonpilas C,Turcanu M, Peyron MA,Fang Y, Nitta Y, Yao X, Zhao M, Ishihara S, Nakauma M, Funami T, Kohyama K, Moritaka H, Yoshimura M,Takemasa M, Hori K, Matsuo K, Michiwaki Y,Zhang Y, Singh N,Meng AGS : Rheology for Safe Swallowing 1. 日本レオロジー学会誌. 51(4):219-248, 2023Oct.
- 17) Nishinari K, Zhang K, Yang N, Gao Z, Gamonpilas C,Turcanu M, Peyron MA,Fang Y, Nitta Y, Yao X, Zhao M, Ishihara S, Nakauma M, Funami T, Kohyama K, Moritaka H, Yoshimura M,Takemasa M, Hori K,

Matsuo K, Michiwaki Y,Zhang Y, Singh N,Meng AGS: Rheology for Safe Swallowing 2, 日本レオロジー学会誌(2023), 51(5): 295-316,2024Jan.

- 18) Nishinari K,Zhang K, Yang N, Gao Z, Gamonpilas C, Bresson MT, Peyron MA, Fang Y, Nitta Y, Yao X, Zhao M, Ishihara S, Nakauma M, Funami T, Kohyama K, Moritaka H,Yoshimura M, Takemasa M, HoriK, Matsuo K, Michiwaki Y, Zhang Y, Singh N, Meng AGS, Rheology for Safe Swallowing 3, 日本レオロジー学会誌(2024), 52 (1):37-64, 2024Mar.
- 19) 重本 心平, 堀 一浩, 小野 高裕: 脳血管障害後の送り込み障害に対して舌接触補助床の適用が有効であった症例. 老年歯科医学(0914-3866)38(3):E74-E79, 2023Dec.
- 20) 小野 高裕, 堀 一浩: 「補綴難症例に対する補綴歯科専門医の解決策を共有する(その1)すれ違い咬合,高度顎堤吸収,摂食機能障害」 摂食嚥下障害に対する補綴的アプローチ. 日本補綴歯科学会誌(1883-4426),15(4):440-444, 2023Oct.
- 21) 村上和裕: 舌可動部全摘術後の無歯顎患者にピエゾグラフィーを応用して義歯を製作した症例. 日本補綴歯科学会誌(2023) 15(4): 591-594, 2023Oct.
- 22) 大川純平: すれ違い咬合に対して根面アタッチメントを用いた残根上義歯にて機能回復を行った症例. 日本補綴歯科学会誌(2024) 16(1): 107-110, 2024Feb.

【商業誌】

- 1) 長谷川陽子, 松香芳三: 新たに策定された『リラインとリベースの臨床指針 2023』と『軟質リライン材によるリラインのガイドライン 2023』. 日本歯科評論 976: 64-68, Feb 2024.

【研究費獲得】

- 1) 小野高裕 (代表), 堀 一浩 (分担), 長谷川 陽子 (分担), 村上和裕 (分担): 咀嚼行動変容による高齢者の高次脳機能の維持・改善. 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(B), 20H03877, 2020 年 4 月 - 2023 年 3 月.
- 2) 堀 一浩 (分担): 高齢者における低栄養防止の新戦略ー義歯指導に併せたテーラーメイド栄養指導法構築ー. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 20K10290, 2020 年 4 月 - 2023 年 3 月.
- 3) 堀 一浩 (分担): 高齢者のオーラルフレイルの進行阻止を目指した簡便なスクリーニング検査法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 22K11411, 2022 年 4 月 - 2027 年 3 月.

- 4) 堀 一浩 (分担) : 歯舌実測運動特性に基づく咀嚼ロボットシミュレーション. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B) , 20H02116, 2020 年 4 月 - 2024 年 3 月.
- 5) 堀 一浩 (代表), 村上和裕, 吉村将悟 : ウェアラブルデバイスを用いた咀嚼行動変容と歯周病改善による糖尿病コントロール. 科学研究費基盤研究 B, 21H03129, 2021 年 4 月 - 2025 年 3 月
- 6) 長谷川陽子 (代表) : 食生活の変容が認知機能に与える影響. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 、 23K09270 、 2023 年 4 月 - 2026 年 3 月
- 7) 長谷川陽子 (代表) : 機械学習を活用した骨密度の予後予測モデルの構築と検証. 8020 研究財団研究助成, 22-2-10, 2022 年 4 月～2023 年 3 月.
- 8) 長谷川陽子 (代表) : 個人の食品嗜好性を脳イメージングにより可視化できるか? 新潟大学令和 4 年度 U-go グラント 2022 年 4 月～2023 年 3 月. 研究助成.
- 9) 長谷川 陽子 (代表) : ライフスタイルの変化に応じたオーラルヘルスアプローチによる引きこもり予防. 三井住友海上福祉財団 2023 年度研究助成 (高齢者福祉), 2023～2024
- 10) 長谷川陽子(プロジェクト代表者: 平野浩彦・東京都健康長寿医療センター) : 咀嚼機能と安静時機能的結合との関連に関する探索的研究. LOTTE CO.,Ltd (研究費提供組織) .2023～2024.
- 11) 佐藤直子 (代表), 堀一浩 (分担) : 食事介助者の動作が摂食嚥下先行期・準備期における被介助者の挙動に及ぼす影響. 科学研究費補助金 基盤研究 C, 21K09974, 2021-2023 年度
- 12) 大川純平 (代表), 堀一浩 (分担), 岸本奈月 (分担) : 舌苔の付着や舌の乾燥は口腔機能および身体機能と関連するか? 深層学習を用いた舌の画像解析. 8020 財団 令和 5 年度 8020 研究事業, 23-4-09, 2023 年 4 月-2024 年 3 月
- 13) 大川純平 (代表) : 深層学習による画像認識技術を応用した舌評価法の開発. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 20K18593, 2022-2023.
- 14) 大川純平 (代表) : レトロネーザルアロマは肥満と関連するか? 一口中香による咀嚼様相変調. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 22K17107, 2022-2023.
- 15) 村上 和裕 (代表), 堀一浩 (分担) : グミ食品を用いた段階的咀嚼機能改善プログラムの構築. 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究 (C), 23K09250, 2023 年 4 月 - 2026 年 3 月
- 16) 兒玉匠平 (代表) : 舌運動と舌圧の同時計測による咀嚼時の舌機能評価. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 21K17036, 2021-2023 年度
- 17) 吉村 将悟 (代表) : 咀嚼行動は筋肉量、栄養に係るか? -自立高齢者における咀嚼、栄養、筋肉量の関連-. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 23K16084, 2023-2025
- 18) 上原文子 (代表) : 食後血糖値に対する咀嚼回数、唾液量およびアミラーゼ活性の影響. 日本学術振興会 科学研究費用補助金 若手研究, 21K17062, 2021-2023 年度
- 19) 堀 頌子 (代表) : 咀嚼行動は肥満発症と関連するか? -レトロスペクティブスタディー-. 日本学術振興会 科学研究費用補助金 研究活動スタート支援, 22K21035, 2022-2024 年度
- 20) STA MARIA MA THERESE (代表) : Development of a Wearable Device Aimed at Changing Cognitive Functions of Older Adults by Masticatory Behavior Change (採択論文名), 公益財団法人 立石下顎技術振興財団 事務局 後期国際交流助成 (国際会議発表) , 2023 年度
- 21) 村上瞳 (戸川瞳) (代表) : ウェアラブルデバイスによる要介護高齢者の食事見守り. 日本学術振興会 科学研究費補助金若手研究, 22K17108, 2022～2024 年度

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 堀 一浩 : 咀嚼嚥下時の舌機能評価. 第69回日本顎口腔機能学会, 松戸, 2023年4月22日
- 2) 長谷川陽子 : 「軟質リライン材によるリラインのガイドライン2023」「リラインリベースの臨床指針2023」の概要. 日本補綴歯科学会第132回学術大会, 横浜, 2023年5月20日.
- 3) 堀 一浩 : Food Oral Processing と舌機能解析. 食品ニューテクノロジー研究会, オンライン, 2023 年 5 月 26 日
- 4) 長谷川陽子 : “食べること” と高次脳機能ーヒトを対象とした研究よりー. 認知症と口腔機能研究会第4回学術集会, 鹿児島, 2023年8月19日.
- 5) 長谷川陽子 : 口腔から始まる全身の健康ーフレイルとのつながりを理解するー. 第33回日本全身咬合学会学術大会, 東京, 2023年10月22日.
- 6) Yoshimoto T : Effects of Walking Training on Oral Health Status in Middle-Aged and Older Adults. IAGG Asia/Oceania Regional Congress satellite symposium 2023, 京都, 2023年10月26日
- 7) 新開瑞希, 李宙垣, 佐藤理加子 : 顎口腔機能セミナーを活かそう! 大学院生が研究者になるまでの第一歩ー嚥下時の舌運動をみるー. 第70回日本学口腔機能学会, 札幌, 2023年11月5日
- 8) 堀 一浩 : 咀嚼行動変容のためのアプローチ. 第5回嚥むこと健康研究会, 東京, 2023年11月10日

- 9) 堀 一浩：生涯を通じた咀嚼習慣. 日本咀嚼学会 2023年度（第29 回）咀嚼と健康ファミリーフォーラム, オンライン, 2023年11月15日-1月10日
- 10) 長谷川陽子. 咀嚼と栄養の科学：歯科の視点から. 令和5年度日本補綴歯科学会関西支部学術大会生涯学習公開セミナー, 大阪, 2024年1月28日.
- 11) 長谷川陽子. 「Minds診療ガイドライン作成マニュアル」を活用した歯科領域における診療ガイドライン作成の実際ー軟質リライン材によるリラインのガイドライン2023ー. 公益財団法人日本医療機能評価機構第26回診療ガイドライン作成に関する意見交換会, オンライン, 2024年2月17日.

【学会発表】

<国際>

- 1) Yoshimoto T, Hasegawa Y, Furihata M, Yoshihara A, Morikawa M, Hori K, Nose H, Masuki S and Ono T : Effects of Interval Walking Training on Oral Function: A Case-Control Study. IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023, 横浜, 2023 年 6 月 13 日
- 2) Okawa J, Hori K, Izuno H, Fukuda M, Hatayama C, Ono T : Evaluation of Tongue Coating using Image Recognition with Deep Learning. IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023, 横浜, 2023 年 6 月 14 日
- 3) Shigemoto S, Hori K, Ohmizo H, Okawa J, Ono T, Miyajima H: Relationship between nutritional status, oral/swallowing function, and postoperative pneumonia in the older people after femoral fracture surgery. IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023, 横浜, 2023 年 6 月 14 日
- 4) Sato R, Kodama S, Okawa J, Murakami K, Ono T, Hori K : Tongue and Jaw Movement during Mastication. European College of Gerodontology (ECG) Congress 2023, Stockholm, 2023 年 9 月 14 日
- 5) Okawa J, Hori K, Izuno H, Fukuda M, Ujihashi T, Ono T : Assessment of Oral Dryness in Older Adults using Image Recognition with Deep Learning. European College of Gerodontology (ECG) Congress 2023, Stockholm, 2023 年 9 月 14 日
- 6) Uehara F, Izuno H, Ujihashi T, Fukuda N, Hori S, Yoshimura S, Takano H, Ono T and Hori K : The relationship between chewing habits and food preferences of the older people. European College of Gerodontology (ECG) Congress 2023, Stockholm, 2023 年 9 月 14 日
- 7) Suzuki T, Hasegawa Y, Yoshimura S, Shiramizu M, Maria M T S, Yamamura K, Ono T, Ono Y. Increased Dorsolateral Prefrontal Activity During Food Intake with Pleasant and Unpleasant Emotions. Society for

Neuroscience: SfN, Washington D.C., USA, 2023 年 11 月 11-15 日.

- 8) Miyazaki Y, Suzuki T, Hasegawa Y, Yoshimura S, Sta Maria MT, Hori K, Yamamura K, Ono T, Ono Y. Effect of Habituating Intentional Chewing on Brain Activity in Older Adults. Society for Neuroscience: SfN, Washington D.C., USA, 2023 年 11 月 11-15 日.
- 9) Sato R, Kodama S, Okawa J, Murakami K, Ono T, Hori K : Three-dimensional Analysis of Tongue and Mandibular Movement during Gum Chewing. European Society for Swallowing Disorders (ESSD) 2023 13th Annual Congress, Toulouse, 2023 年 12 月 1 日
- 10) Sta Maria MT, Hasegawa Y, Yoshimura S, Miyazaki Y, RyoTakehara, Suzuki T, Hori K, Ono Y, Yamamura K, Ono T. Cognitive Function-Related Changes Due to Masticatory Behavior Modification: Two Randomized Controlled Studies by Age. Alzheimer's and Parkinson's Diseases conference 2024, Lisbon, Portugal, 2024 年 3 月 5-9 日.
- 11) Hasegawa Y, Yoshimura S, Suzuki T, Shirasui M, Maria M T S, Yamamura K, Ono Y, Ono T. Effects of Emotional Changes in Brain Neural Activity in Relation to Food Intake. Alzheimer's and Parkinson's Diseases conference 2024, Lisbon, Portugal, 2024 年 3 月 5-9 日.
- 12) Sta Maria MT, Hasegawa Y, Yoshimura S, Miyazaki Y, RyoTakehara, Suzuki T, Hori K, Ono Y, Yamamura K, Ono T. Cognitive Function-Related Changes Due to Masticatory Behavior Modification: Two Randomized Controlled Studies by Age. 102nd General Session & Exhibition of the IADR, New Orleans, USA, 2024 年 3 月 13-16 日.

<国内>

- 13) Suwanarpa K, 長谷川陽子, 善本佑, 堀一浩, 小野高裕：可撤式義歯患者における摂取可能食品質問表を用いた咀嚼能力の予測は可能か？. 第 56 回新潟歯学会総会, 新潟, 2023 年 4 月 15 日.
- 14) 中川悠, 山口泰彦, 石丸智也, 服部佳功, 小野高裕, 荒井良明, 長谷川陽子, 志賀博, 玉置勝司, 田中順子, 津賀一弘, 阿部倉仁, 宮脇正一, 前田綾, 三上紗季, 後藤田章人, 佐藤華織: 日中覚醒時における咬筋活動回数の日間変動の検討. 第 69 回日本顎口腔機能学会学術大会, 松戸, 2023 年 4 月 22 日.
- 15) 宮崎透奈, 竹原遼, 鈴木達也, 長谷川陽子, 吉村将悟, Sta Maria MT, 堀一浩, 山村健介, 小野高裕, 小野弓絵: 咀嚼行動の変容を促した時の若年者と高齢者のガムチューイング中脳活動の変化. 第 62 回日本生体医工学会大会, 名古屋, 2023 年 5 月 19 日.

ポスター発表.日本生体医工学会大会プログラム・抄録集(Web) 62nd : 283 頁, 2023 年 5 月.

- 16) Aye Mya Mya Khaing, 善本 佑, 長谷川陽子, Sta Maria MT, 堀 一浩, 小野高裕: 高齢者の短縮歯列弓が口腔機能に及ぼす影響: 前向きコホート研究. 日本補綴歯科学会第 132 回学術大会, 横浜, ポスター発表, 2023 年 5 月 20 日, 日本補綴歯科学会誌(Web) 15 号 (132 回特別号) : 288 頁, 2023 年 5 月 20 日.
- 17) 三村俊平, 大川加奈子, 深町直哉, 長崎 司, 堀一浩, 大川純平, 竹山雅規, 小野高裕, 齋藤 功: ウェアラブルデバイスを用いた骨格性下顎前突症患者の性別による咀嚼行動の違い. 第 33 回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2023 年 6 月 8 日, 日本顎変形症学会雑誌 33 (2) : 190 頁, 2023 年 5 月.
- 18) 小山重人, 石崎 憲, 大山哲生, 荻野洋一郎, 西脇恵子, 堀 一浩, 山内健介, 山下善弘, 菅野貴浩, 関谷秀樹, 高橋 哲, 堀江伸行, 松山美和, 柳井智恵, 山下佳雄: 広範囲顎骨支持型装置・広範囲顎骨支持型補綴装置に関する多機関研究の進捗状況. 日本顎顔面補綴学会第 40 回学術大会, 名古屋, 2023 年 6 月 3 日
- 19) Sta Maria MT, 長谷川陽子, 吉村将悟, 堀一浩, 山村健介, 小野高裕: Cognitive Function-Related Changes Due to Masticatory Behavior Modification: Two Randomized Controlled Studies by Age. 一般社団法人日本老年歯科医学会第 34 回学術大会, 横浜, 2023 年 6 月 16 日.
- 20) 氏橋 貴子, 泉野 裕美, 福田 昌代, 澤田 美佐緒, 堀頌子, 吉村 将悟, 重信 直人, 小野 高裕, 堀 一浩: 地域在住自立高齢者における口腔機能および咀嚼行動と歩行能力との関連. 一般社団法人日本老年歯科医学会第 34 回学術大会, 横浜, 2023 年 6 月 18 日.
- 21) 氏橋貴子, 泉野裕美, 福田昌代, 堀 頌子, 吉村将悟, 上原文子, 小野高裕, 堀 一浩: 地域在住自立高齢者の歩行能力と口腔機能および咀嚼行動との関係. 令和 5 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2023 年 7 月 8 日
- 22) 佐藤理加子, 兒玉匠平, 大川純平, 村上和裕, 小野高裕, 堀一浩: ガム咀嚼時の舌運動解析. 歯学会第 1 回例会, 新潟, 2023 年 7 月 8 日
- 23) 早川結樹, 和泉柚紀, 大川純平, 川上智美, 宮地一裕, 小野高裕, 堀 一浩: 異なるキシタンガム系とろみ調整食品の嚥下動態の比較. 令和 5 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2023 年 7 月 8 日
- 24) 石丸智也, 山口泰彦, 長谷川陽子, 荒井良明, 志賀博, 玉置勝司, 津賀一弘, 宮脇正一, 三上紗季, 後藤田章人, 佐藤華織, 齋藤大嗣: 日中覚醒時咬筋活動量と臨床所見の関連性の検討. 第 35 回日本顎関節学会総会・学術大会, 東京, 2023 年 7 月. 日本顎関節学会雑誌(Web) 35 号 : 36 回大会特別号(冊子) 104 頁. 2023 年 7 月.
- 25) 佐藤理加子, 兒玉匠平, 大川純平, 村上和裕, 小野高裕, 堀一浩: ガム咀嚼時の舌運動解析. 第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 横浜, 2023 年 9 月 2 日
- 26) 重本心平, 堀 一浩, 大溝裕史, 遠藤克哉, 高橋順子, 大川純平, 小野高裕, 宮島 久: 大腿骨骨折術後高齢者における口腔機能, サルコペニアと栄養状態との関連. 第 29 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 横浜, 2023 年 9 月 2 日
- 27) 早川結樹, 和泉柚紀, 大川純平, 川上智美, 宮地一裕, 小野高裕, 堀 一浩: キサンタンガム系とろみ調整食品の嚥下動態における製品比較. 第 29 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会, 横浜, 2023 年 9 月 2 日
- 28) 阿部寿純, 山崎達也, 長谷川陽子, 岸本裕充, 新村健: 骨密度予測のための機械学習手法の比較. 2023 年度 IEICE 信越支部大会, オンライン, 2023 年 9 月 24 日.
- 29) 中川悠, 山口泰彦, 石丸智也, 服部佳功, 小野高裕, 荒井良明, 長谷川陽子, 志賀博, 玉置勝司, 田中順子, 津賀一弘, 阿部倉仁, 宮脇正一, 前田綾, 三上紗季, 後藤田章人, 佐藤華織: 日中覚醒時における咬筋活動回数の日間変動の検討. 令和 5 年度日本補綴歯科学会東北・北海道支部学術大会, 札幌, 2023 年 10 月 8 日. 日本補綴歯科学会東北・北海道支部総会・学術大会プログラム・抄録集(Web) 2023 : 32 頁, 2023 年 10 月.
- 30) 高野日南子, 村上和裕, 佐藤理加子, 小野高裕, 堀一浩: 咀嚼機能が低下した高齢者における半量グミゼリーを用いた咀嚼能力検査の有用性. 日本咀嚼学会第 34 回学術大会, 大阪, 2023 年 10 月 28 日
- 31) 大川 加奈子, 大川 純平, 丹原 惇, 高橋 功次朗, 堀 一浩, 長崎 司, 福井 忠雄, 小野 高裕, 齋藤 功: 嚥下時の舌圧発現様相および顎顔面筋群筋活動と口蓋形態との関係性. 第 82 回日本矯正歯科学会学術大会, 新潟, 2023 年 11 月 2 日
- 32) 吉村将悟, 堀 一浩, 堀 頌子, 小野高裕: 肥満者におけるウェアラブル機器を用いた咀嚼行動変容の有効性の検討. 日本顎口腔機能学会第 70 回学術大会, 北海道, 2023 年 11 月 4 日
- 33) 安野綾夏, 村上和裕, 吉村将悟, 上原文子, 堀

頌子, 善本 佑, 翁 恩慈, 岸本奈月, 白鳥昇, 堀 一浩: CAD 技術が全部床義歯の技能教育におよぼす効果. 補綴歯科学会関越支部 新潟, 2023 年 11 月 5 日.

- 34) 楠博, 長谷川陽子, 辻翔太郎, 玉城香代子, 和田陽介, 森敬良, 永井宏達, 志水秀郎, 岸本裕充, 新村健: オーラルフレイル 5 項目(OF-5)と全身のフレイル・サルコペニア指標との関連. 第 34 回日本老年医学会近畿地方会, 神戸, 2023 年 11 月 18 日.
- 35) 佐藤理加子, 堀 一浩, 兒玉匠平, 大川純平, 小野高裕: モーションキャプチャを用いた水嚥下時三次元的舌運動の観察. 日本嚥下医学会第 47 回学術大会, 新潟, 2024 年 2 月 9 日.
- 36) Sta Maria MT, 長谷川陽子, 吉村将悟, 宮崎透奈, 鈴木達也, 堀一浩, 小野弓絵, 山村健介, 小野高裕: The influence of masticatory behavior on cognition. 日本嚥下医学会第 47 回学術大会 総会 (ポスター発表), 新潟, 2024 年 2 月 9 日.

【受賞】

- 1) 堀 一浩: 「咀嚼嚥下時の舌機能評価」. 学会賞, 日本顎口腔機能学会, 2023 年 4 月 22 日
- 2) Okawa J: Evaluation of Tongue Coating using Image Recognition with Deep Learning. Outstanding Poster Presentation Award. IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023, 2023 年 6 月 14
- 3) Shigemoto S, Hori K, Ohmizo H, Okawa J, Ono T, Miyajima H: Relationship between nutritional status, oral/swallowing function, and postoperative pneumonia in the older people after femoral fracture surgery. Outstanding Poster Presentation Award. IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023, 2023 年 6 月 14 日
- 4) STA MARIA MA THERESE, 長谷川 陽子, 吉村 将悟, 堀 一浩, 山村 健介, 小野 高裕: Cognitive function-related changes due to masticatory behavior modification: Two randomized controlled studies by age. 優秀演題賞(第 33 回日本老年学会総会合同ポスター (老年歯科医学会部門)), 一般社団法人日本老年歯科医学会, 2023 年 6 月 16 日
- 5) 船見孝博, 石原清香, 中馬誠, 神山かおる, 小野高裕, 堀 一浩, 西成勝好, ヒトの摂食メカニズム考慮した力学測定およびヒト生理計測による食品テクスチャーの評価と加工食品の製品デザイン. 日本食品科学工学会技術賞, 2023 年 8 月 24 日
- 6) 吉村将悟: 肥満者におけるウェアラブル機器を用いた咀嚼行動変容の有効性の検討. 学術大会優秀

賞, 日本顎口腔機能学会第 70 回学術大会, 2023 年 11 月 5 日

- 7) 水野海渡, 兒玉匠平, 佐藤理加子, 大川純平, 堀一浩, 東森充: アレイ状配置チャンバを有する舌型空圧ソフトアクチュエータの設計. 研究奨励賞, 計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2022), 2023 年 12 月 15 日

【その他】

- 1) 堀 一浩, 西脇恵子: 日本顎顔面補綴学会第 1 回ハンズオンセミナー「PAP 治療ワークショップ」, 名古屋, 2023 年 6 月 3 日
- 2) 堀 一浩: 高校生アカデミックインターンシップ, 新潟, 2023 年 8 月 22 日-23 日
- 3) 村上和裕: 日本咀嚼学会市民公開講座「咀嚼」を測る, 吹田, 2023 年 10 月 28 日

組織再建口腔外科学分野

【著書】

- 1) 前田健康, 網塚憲生, 中村浩彰, 小林正治: 口腔組織・発生学 第 3 版 第 8 章 顎関節 IV 臨床的考察, 182-184 頁, 医歯薬出版, 東京, 2024.

【論文】

- 1) Asami E, Kitami M, Ida T, Kobayashi T, Saeki M. Anti-inflammatory activity of 2-methoxy-4-vinylphenol involves inhibition of lipopolysaccharide-induced inducible nitric oxidase synthase by heme oxygenase-1. Immunopharmacology and Immunotoxicology, Published online:2023.
- 2) Chan NN, Yamazaki M, Maruyama S, Abe T, Haga K, Kawaharada M, Izumi K, Kobayashi K, Tanuma JI. Cholesterol Is a Regulator of CAV1 Localization and Cell Migration in Oral Squamous Cell Carcinoma. Int. J. Mol. Sci., 24(7), 6035, 2023.
- 3) Katagiri W, Saito D, Maruyama S, Ike M, Nisiyama H, Hayashi T, Tanuma JI, Kobayashi T. Masticatory muscle tendon-aponeurosis hyperplasia that was initially misdiagnosed for polymyositis: a case report and review of the literature. Maxillofac Plast Reconstr Surg 45:18, 2023.
- 4) Haga K, Funayama A, Yamazaki M, Maruyama S, Hara T, Saito N, Saito D, Sotsuka Y, Hayashi T, Tanuma JI, Kobayashi T: Extensive ameloblastic fibroma of the mandible in an elderly woman: A case report and review of the literature. J Oral Maxillofac Surg Med Pathol.